



SPORTS SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT

名古屋ダイヤモンドドルフィンズ
2022-23シーズン ドルフィンズスマイル活動報告

ご挨拶

名古屋ダイヤモンドドルフィンズ株式会社
代表取締役社長
山下 雄樹



日頃より名古屋ダイヤモンドドルフィンズにご支援・ご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。今季も引き続き新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態に直面しておりましたが、ドルフィンズを支えてくださった全ての皆さまに、まずは感謝申し上げます。

2022-23シーズンは、2020年に始動した「ドルフィンズスマイル」の活動も3シーズン目を迎え、引き続き最重要経営課題と認識し、多くのファンの皆様、協力・連携機関様と共にドルフィンズコミュニティが笑顔になれる活動に取り組んで参りました。

今シーズンより日本代表選手3名をドルフィンズスマイルアンバサダーに選出し、「気候変動」「子ども支援」「女性活躍推進」の3つの重要課題に注力いたしました。それぞれの選手が各プロジェクトをリードしながら、より主体的に取り組み、ファンの皆さまにもお力添え頂きながら進めて参りました。

「気候変動」では、IOCと国連が連携実施する世界サミットでの登壇機会や地下鉄での啓発ポスター掲示も頂き、「子ども支援」では新たにドルフィンズスマイル子ども支援「COCOプロジェクト」を立ち上げ、子ども食堂に新米を届ける「ドルフィンズ米プロジェクト」も発足しました。また「女性活躍推進」もトップパートナーとの連携のもと、地域の女性リーダー表彰を実施することができました。

とくに、SDGs最重要項目とされる気候変動問題に対し、国連スポーツ気候行動枠組み新基準への署名団体として、世界の約300のトップスポーツ団体とも足並みを揃え、CO2排出量削減削減とともに、今後も啓発活動を継続し、ファンや地域の皆さまとともに地球を守る活動に尽力する所存です。

名古屋ダイヤモンドドルフィンズは、今後も「ドルフィンズスマイル」の活動を通して、地球環境を守り、苦しい状況にある人々に勇気を与え、安心安全な地域社会づくりに貢献するための様々な活動に取り組めます。地域の課題やニーズに対応しながら、ファンの皆さまのお声にもお応えする形で、選手も参画し継続的に実施していく予定です。

今後もドルフィンズ・コミュニティの皆さまが笑顔になれるよう、スポーツの力を活用し、社会的責任を果たしていく所存でございますので、引き続きのご支援ご協力のほどどうぞ宜しくお願い申し上げます。

クラブ方針 NAGOYA DIAMOND DOLPHINS CLUB PHILOSOPHY

VISION

名古屋の誇り(シンボル)となるドルフィンズ。
地域の未来社会に貢献。

MISSION

”Dream of NAGOYA”(名古屋の夢を拓く)
夢を追いかけ、限界を超えるべく、ひた向きに戦う。

ACTIVITY PHILOSOPHY

「 DO,RED. 」

造語で「赤にする＝赤に染めていく」という意思と、
“DO”lphins REDという2つの意味を込めている。選手・
ファン・名古屋の人々・街を、ドルフィンズレッドの「情熱・
強さ・勢い」で赤く染めていく、夢の実現を目指す。



ドルフィンズスマイルについて

“Dolphins Smile”は、名古屋ダイヤモンドドルフィンズが、地域への感謝の気持ちとして実施する社会的責任イニシアティブで、「オフコートの3P」をコンセプトに、ドルフィンズコミュニティが笑顔になれるよう、さまざまな社会貢献活動をリードします。

「オフコートの3P」アクション ～PLANET, PEOPLE AND PEACE～

PLANET

ドルフィンズは、世界で最重要課題となっている地球環境・気候変動(危機)問題へ一丸となって取り組み、環境に配慮した事業運営に努め、またファンとともに地球環境に貢献するための活動を継続的に実施してまいります。

PEOPLE

ドルフィンズは、地域社会において、弱い立場、苦しい状況にある人々に支援の手を差し伸べ、人権・ダイバーシティ等に関する人的環境の改善に取り組みます。また、経済的・社会的に恵まれない境遇にある子どもたちや、苦しい状況にある人々に笑顔や希望を届け、より多くの方々が健康で豊かな生活を送ることができるようサポートします。

PEACE

ドルフィンズは、地域社会の人々が安心して暮らせるまちづくりに貢献します。また、防災・減災の意識向上のための活動に従事します。

ドルフィンズ
スマイルの
詳細はこちら



名古屋ダイヤモンドドルフィンズは ドルフィンズスマイルを通じてSDGsに貢献しています

スポーツの力を活用した Planet, People, Peace の3つの分野における「オフコートの3P」アクションを通して、Bリーグ統合と同じ年に採択され、Bリーグ開幕の年に始動したSDGsの達成に貢献し、プロスポーツクラブとしての社会的責任を果たします。



※SDGsとは？

SDGsは、「Sustainable Development Goals(サステナブル・デベロップメント・ゴールズ)」の略称で、世界共通の目標として、気候変動や環境問題、ジェンダー平等、教育、健康などに関する17の持続可能な開発目標と169のターゲットが設定されており、いずれも2030年までの達成を目指すものです。

活動内容

Dolphins Smile (社会貢献活動)アンバサダー決定



●気候変動プロジェクト アンバサダー #2 齋藤拓実 選手

僕自身、気候変動の知識がまだあまりないので少し不安な気持ちもありますが、選手が発信することの影響を様々な活動を通して感じています。僕が発信していくことで、ファンの皆さんにもご協力いただきながら、ファンの皆さんと一緒に学び、行動していきたいと思っています。気候変動問題は、ドルフィンズスマイルの中でも最重要項目として取り組むので、子ども達の未来のために、スポーツの力を活用し、共に取り組みましょう。

気候変動プロジェクト主な活動 ▶ CO2排出量計測、公共交通機関利用促進、脱プラスチック、フードドライブ、地産地消



●子ども支援COCO(ここ)プロジェクト アンバサダー #8 張本天傑 選手

子どもは日本にとっての未来だと思っていますが、日本では虐待を受けている子どもや貧困の状態にある子どもが沢山います。僕が活動をして発信していくことで、周りの人たちをもっと巻き込んで一緒に活動し、少しでも子どもたちが良い環境で生活できるようにしてほしいと思っています。プロ選手としてファンの方々に良いプレーをお見せしていくことは第一ですが、未だコロナ禍で制限がありますが、出来ることを考えていきたいですし、僕自身、子どもたちに夢を与えられる選手になりたいと本当に思っています。子どもたちが少しでも笑顔になれるように、一緒に取り組んでいきましょう。

COCOプロジェクト主な活動 ▶ ドルフィンズ米プロジェクト、COCOシート販売、児童養護施設招待(年間バスCOCOチケット)、オレンジリボン啓発活動、子ども病院訪問



●女性活躍推進プロジェクト アンバサダー #11 須田侑太郎 選手

女性活躍推進に関して、どのような活動ができるのか、まだわからないというのが正直な気持ちです。しかし、B.LEAGUEは女性ファンも多いですし、僕個人のファンクラブも9割が女性ファンという身近な存在です。僕自身、この分野は今まで触れてこなかった分野ではありますが、これを機に、「女性活躍推進」の分野に向き合って理解を深めていきたいと思っています。活動する人たちが増えれば大きな力になります。プレーや試合をすることは第一に大事ですが、スポーツ選手がプレーをするだけでいい時代は終わったのかなと思っています。ドルフィンズスマイルの取り組みを通して、女性活躍推進について一緒に取り組んでいきましょう。

女性活躍推進プロジェクト主な活動 ▶ 女性リーダー表彰、女性リーダー対談、国際女性デー啓発活動

Dolphins Smile Day

2022年10月8日(土)、10月9日(日)にドルフィンズアリーナで開催されたホームゲームで、「Dolphins Smile Day」を開催。



児童虐待防止オレンジリボン活動

児童虐待防止「オレンジリボン活動」の啓発物を配布。チームスタッフ、フロントスタッフもオレンジリボンをつけて啓発活動を行いました。

協力: NPO法人CAPNA、NPOチャイルドラインあいち

環境に配慮したマッチデープログラム

毎試合ホームゲーム会場でファンの皆さまに配布しているマッチデープログラムを、Dolphins Smile Dayの2日間、再生紙を使用した環境に配慮した素材で作成しました。

SDGsオンラインクイズ

脱炭素に関わるSDGsオンラインクイズを実施。選手からのヒントをもとに親子連れを含む約100名のファンにご参加頂きました。



歌を通して環境について考える「環境ライブ」を実施

瀬戸市出身シンガーソングライターのアズミさんによる環境ライブをハーフタイムに実施。本企画は、ドルフィンズスクール卒業生の鈴木悠翔さんによる提案で行われ、自身の養蜂体験を通して自然の大切さを歌うアズミさんの心に届く歌声を通して、環境のことを考える貴重な時間となりました。



アップサイクルワークショップ

選手が実際に使用したボールを解体して1点もののキーホルダーにする「アップサイクル」を実施しました。

協力: 名古屋市環境局減量推進室



アプリでエコポイントを貯めるブースを設置

環境にやさしい行動をして、エコポイントを貯めるスポットを設置。名古屋市の「なごっちゃアプリ」を活用しエコポイントを貯めると、ドルフィンズのグッズがもらえる企画を実施しました。

協力: 名古屋市環境局脱炭素社会推進課

ドルフィンズ初! 地産地消マルシェを開催

地元の食材を食べてCO2排出量削減に取り組む「地産地消マルシェ」を、ホームゲーム会場で初めて実施しました。



活動内容 PLANET

気候変動啓発プロジェクト始動、
公共交通機関来場促進スタンプラリー開催 ACT HOLDINGS

公共交通機関でご来場いただくと、様々な特典が受けられるスタンプラリーを実施。名古屋ダービーが行われた3月25日(土)からは、地下鉄・市バスでご来場いただいた方へ、名古屋市交通局オリジナルノベルティをプレゼント。また、気候変動プロジェクトアンバサダー 齋藤拓実 選手の掲載されたポスターが、名古屋市地下鉄の掲示板・地下鉄車内に掲出されました。

協力:名古屋市交通局

株式会社アクトホールディングス 様

この度、ご参加いただきましたファンの皆様、ありがとうございました。
LINEスタンプラリーはいかがでしたでしょうか。皆さんの身近なスポーツを通し、脱炭素の取り組みを感じていただく機会になったのではないかと考えています。「脱炭素」と聞くと大きなことのように感じられますが、普段の生活の中でも、私たち1人1人にできることがあること。そして、少しの工夫と意識がCO2削減に繋がることを体感頂く機会になったのであれば幸いです。弊社は、今後もCO2排出量削減に向けた取り組みを強化し、持続可能なエネルギー社会の実現を目指してまいります。これからも名古屋ダイヤモンドドルフィンズを応援し、ともに社会に貢献していく活動に取り組んでまいります。

名古屋市交通局 様

この度は、ドルフィンズ様の脱炭素への取り組みに賛同し、協力させていただきました。多くの方々にスタンプラリーを楽しんでいただき、とても嬉しく思います。ドルフィンズアリーナは、地下鉄名城線「名古屋城駅7番出口」から徒歩5分という大変アクセスの良い場所にあります。これからもドルフィンズを応援される際には、環境にやさしい市バス・地下鉄を是非ご利用ください。

国連(国際連合)とIOC(国際オリンピック委員会)が連携実施する
世界スポーツ界のサステナビリティ・サミットに登壇

2022年10月4日(土)、5日(日)

ロンドンのウェンブリースタジアムで開催された Sport Positive Summit 2022 に日本を代表して登壇、「ドルフィンズスマイル」の活動について発表(国連「スポーツ気候行動枠組み」新基準への日本スポーツ界初署名団体として)。IOCやUNFCCC(国連気候変動枠組条約)の他、オリンピックスポーツの世界連盟や欧米の著名プロスポーツクラブのサステナビリティ担当者が出席するなか、Sport Positive Summit CEOと対談しました。

PLANET

ホームゲーム会場での「脱プラスチック」の取り組み



ドルフィンズ直営店全て紙容器で提供

直営店「SPOUT BAR」では、「カップ」「ストロー」「ドリンクホルダー」など、環境に配慮した紙資材で提供しています。



選手プロデュース弁当に「バガス容器」

選手プロデュース弁当の容器に、さとうきびの搾りかすから作られた、土に還る「バガス容器」を使用。

株式会社折兼

「脱プラ認定店」の出店

会場での楽しみの一つ、場外キッチンカーや場内マルシェの9割以上の出店店舗も、環境に配慮した容器で提供。



ゴミ分別、脱プラへの取り組み

バスケットゴールに見立てた「分別ゴミ箱」を新たに設置、楽しくゴミを分別する仕組みを提供。

協力：海と日本PROJECT

プロギングを開催



菱洋エレクトロ(株) Presents

RYOYO

2023年1月28日(土)

ドルフィンズ主催で初めてのプロギングを開催。オリジナルTシャツ、トンぐ、手袋などをご提供いただき、晴天の下、名古屋の街をきれいにする活動にファンの皆さまと一緒に取り組みました。

菱洋エレクトロ株式会社様

今回はドルフィンズスマイルパートナーとなって初めての取り組みとなりました。ご参加いただきましたファンの皆さまに楽しんでいただき、また社会貢献の一助となる機会をいただいたことを大変光栄に思います。名古屋の皆さんにとって身近なドルフィンズポートからアリーナまでの地域を、プロギングという活動によって、どんなごみが落ちているか、この活動でどれくらい街がきれいになるかなど、改めて感じていただく機会になったのではないかと考えています。弊社はサステナビリティの取り組みを強化し、持続可能な経済成長と社会的課題の解決の両方に取り組んでおります。これからも名古屋ダイヤモンドドルフィンズを応援し、ともに社会に貢献していく活動に取り組んでまいります。



hummel Presents



2023年4月16日(日)

トップパートナーの hummel 様ご協力のもと第2回プロギングを開催。140名を超える方にお申込みいただく大人気イベントとなり、当選した30名と名古屋の街をきれいにする活動に取り組みました。

hummel 様

ヒュンメルは、今シーズンからトップパートナーとなり、SDGsを推進するドルフィンズスマイル連携協定にもサインしました。ドルフィンズがチャンピオンシップ出場を決めたリーグ終盤に、初めて冠ゲームを行い、名古屋の街をきれいにするイベントと一緒に行うことができました。ご参加いただいたドルファミの皆さん、ありがとうございました。走ってというよりも、歩いてしゃべりながらのゴミ拾いで、ドルファミ同士の交流にもなり、何より自分たちの街を見つめ直す機会にもなったと思っています。改めて自分たちの住む街を歩き、清掃することで、街やチームへの愛着が増すようなイベントになりました。これからも足元を見据えた取り組みを共にしていくことができればと思っています。

活動内容

ご挨拶

概要について

SDGsとは

協力・連携機関一覧

主なメディア掲載一覧

PLANET

愛知県内のファンと協力!フードドライブを実施



2022年10月1日(土)、2023年3月25日(土)

名古屋市環境局様と共催でフードドライブを実施。事前に選手も協力し、動画などで参加を呼びかけ、2日間で200名を超えるお客様にご協力いただき、合計128.1kgの食品が集まりました。対戦相手とコラボした缶バッチも参加者へプレゼントしました。

協力:名古屋市環境局 資源化推進室、認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋

名古屋市環境局資源化推進室 様

今回も昨シーズンの3月に引き続いてドルフィンズ様と一般の方向けのフードドライブを共催させていただきました。とてもたくさんの方に食品をお持ち込みいただき、ありがとうございました。2回目ということもあり、活動の輪が着実に広がっていることが実感できました。

認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋 様

スポーツ界が行うフードドライブは、社会に大きな影響を及ぼします。ドルフィンズの「COCOプロジェクト」に関われる事は、私達にとってもありがたい事と同時に 誇りでもあります。一度ではない持続的な取り組みとして、これからも共に進んで行ければと願っています。選手、スタッフ、そしてファンが一つになっているチーム、ドルフィンズに感謝しています。

小牧市と連携、SDGsクイズを実施



2022年11月19日(土)、20日(日)、2023年3月18日(土)、19日(日)

パークアリーナ小牧で開催された試合で、小牧市にまつわるSDGsオンラインクイズ実施、ふるさと納税のPR。4日間合計で346名のファンの皆さまにご参加いただきました。

協力:小牧市役所 秘書政策課、商工振興課

世界最大級の消灯アクション「アースアワー」に参加



昨年、一昨年に続いて参画し、クラブ公式Twitterにて、中東選手、坂本選手の動画による消灯の呼びかけを行い、ドルフィンズスタッフもアースアワーに参加しました。

アースアワーは、世界中の人々が同じ日(3月最終土曜日)・同じ時刻(現地時間20:30~21:30)に電気を消し、地球温暖化防止と環境保全の意志を示す、世界最大級の消灯アクションです。

IOC登壇セミナーにてドルフィンズスマイル活動報告



2023年3月16日(金)

Sport For Smile プラネットリーグ主催の啓発セミナーにて、IOCサステナビリティ・マネージャーのファブリジオ・ダンジェロ氏に、ドルフィンズスマイルの活動をご報告、評価と激励のお言葉を頂きました。

気候変動プロジェクト年間活動総集編PV発信



環境月間である6月に、今シーズンの気候変動プロジェクトで実施した活動内容の総集編動画を、気候変動プロジェクトアンバサダーの齋藤拓実 選手のコメントとともにファンに向けて発信しました。

活動内容 PEOPLE

ドルフィンズスマイル子ども支援『COCO(ここ)』プロジェクト始動

2022-23シーズンより、子ども支援に特化したドルフィンズスマイル「COCO(ここ)」プロジェクトを始動。一児の親であり日本代表としても活躍する張本天傑 選手をCOCOプロジェクトアンバサダーとして起用し、昨今の子どもたちを取り巻く深刻な状況を改善するため、地域のNPO等と連携しながら、スポーツの力を最大限に活用し、子どもたちの支援活動をシーズンを通して実施しました。



■COCO(ここ)由来

- ・ドルフィンズが子ども達にとって「こ(CO)こ(CO)ちいい風」となる存在でありますように
- ・「ここ(COCO)ろ」と「ここ(COCO)ろ」の結びつき
- ・「ここ(COCO)に行こう」とみんなが集まる場所となれるように

ドルフィンズスマイルCOCOプロジェクトアンバサダー
張本天傑 選手コメント

自身も子どもがいる父親として子ども達を取り巻く深刻な状況に心を痛めています。少しでも子ども達の未来につながる活動を、名古屋の皆さまと行っていきたくと思っています。



CAPNAは「すべての子どもの笑顔のために」を団体理念とする認定NPOです。日本で三番目にできた子ども虐待防止の民間団体で、オレンジリボン活動を全国展開する活動母体の前身組織の立ち上げにも関わりました。DVや虐待を受ける子どもたちを保護するために、医師・弁護士・臨床心理士(こころの問題にアプローチする専門家)と一般市民のボランティアで活動しています。

COCOプロジェクト連携実績 ▶ オレンジリボン活動



「チャイルドライン あいち」は、ここ愛知県で22年にわたって子ども専用の相談窓口チャイルドラインを開設して、日本全国68団体と一緒に子どもたちの声を聞いています。また、今の子どもたちの状況を社会に知らせて、子どもたちが生き生きと暮らせる社会を作ること私たちのもう一つの使命です。

COCOプロジェクト連携実績 ▶ オレンジリボン活動

SECOND
HARVEST
NAGOYA

セカンドハーベスト名古屋は、東海3県における食のセーフティネットを構築することをミッションに掲げ、地域のフードバンクとして食品 ロスの削減および食料支援活動を行っています。

COCOプロジェクト連携実績 ▶ フードドライブ/ドルフィンズ米プロジェクト

PEOPLE

張本選手が子ども病院を訪問



2023年4月27日(木)

張本天傑 選手がコロナ禍前に交流した、病氣と闘う子ども達へ再び元気を届けたいという想いのもと、子ども病院を訪問し子ども達と交流。2021-22シーズンにドルフィンズスマイルアンバサダーの3名が実施した、選手企画シートの売り上げの一部で、病床の子ども達が治療を受ける際に動画を見たり、親御さんへの病状の説明など、様々な場面でご使用いただくタブレット端末3台をプレゼントしました。

協力:あいち小児保健医療総合センター

張本天傑 選手

コロナ前に子ども病院に訪問させていただき、今回は自身で再度訪問したいと思って実現した、2回目の訪問でした。子ども達と会う前は、少しでも元気になってもらえたらいいなと思って訪問したのですが、逆にパワーをもらい、心にグッとくるものがありました。みんなが頑張っている姿を見て、僕自身ももっと頑張らなくてはという想いが強くなりました。自身が企画した「天傑シート」の売り上げの一部で子ども達の喜ぶ企画ができたのは素直に嬉しかったです。色々な症状の子ども達と接することで、自分たちが自由に生活できていることがどれだけ幸せなことなのか改めて実感しました。病氣と闘っている子ども達は、とても明るく、僕自身がパワーをもらってしまうことが多かったのですが、今後子ども達に喜んでもらえるような交流を続けていきたいと思っています。

あいち小児保健医療総合センター 棚瀬 様

張本選手はじめ、名古屋ダイヤモンドドルフィンズの皆さま、このような機会をありがとうございます。スポーツ選手が病棟に来てくれるということは、子ども達にとって憧れを抱いたり、自身がスポーツが出来なくてもスポーツ選手の存在を知ることと得ることがあると思っています。長いコロナ禍で、久しぶりの外の風や光は新鮮で心が洗われました。私はボランティア活動を外の風と表現しています。子どもと大人の心に気持ちよい風が流れたと実感しています。張本選手は2回目の訪問でしたが、以前から優しく子ども達と接する姿を見ており、張本選手にも子ども達と接することで何か得るものがあればと思います。

中務選手プロデュース「ドルフィンズ大社」
手術を控えた女の子の願いを込めた絵馬に選手が応援

「ドルフィンズ大社」

ファンの皆さまとの交流が減ってしまった昨今の現状を踏まえ、ファンの皆さまに少しでも喜んでいただきたいと、中務選手がプロデュースした企画。中務選手が廃材を使用し、自ら設計、造作、色塗り、イベント企画まで担当し、願いを記入した絵馬に、希望選手のサインを入れてお戻しするという、絵馬を通しての選手とファンの皆さまとの交流を目的として実施しました。

延べ150人の方々が願いを込めた絵馬を掛けました。また、このドルフィンズ大社に願いを込めた、病氣と闘う女の子とご家族と、手術前後に選手との交流を行い、お互いに声援を送りあいました。

中務敏宏 選手

最初は突拍子もない思いつきから始まり、本当に一人で作れるかどうか、ドルファミの皆さんに本当に楽しんでもらえるかも分からない所からスタートした単なる1つのアイデアでした。ですが、クラブフロントスタッフや選手達に協力してもらって、色々な方の色々な思いに繋がることのできた企画に変貌しました。社会に浸透しつつある社会貢献活動には様々な考え方があると思います。ドルフィンズスマイルもその1つですが、僕の解釈としては「難しく捉えず、素敵な思いや笑顔が繋がる瞬間が1つでも増えれば良いよね!」と思って大社と絵馬を作りました。今回は数に限りがあり全ての方に楽しんでいただくことは叶いませんでしたが、ご理解くださり応援の声を頂戴したことに心から感謝です!これからも球団や選手の企画するイベントにはどうぞ全力で参加してください!

参加したご家族からのコメント

娘の為に少しのパワーをいただきたいと思い、願いを込めたドルフィンズ大社から、素敵なご縁になり大変感謝しております。初めはここまでしていただけてと思っていなかったのが、驚きと喜びでいっぱいです。選手のみなさんからサインやメッセージを頂いたり、退院後にみなさんが優しく娘を迎え入れてくださったり、娘の為に少しのパワーをとっていたのですが、娘だけではなく家族みんながとても大きなパワーを頂きました。本当に感謝しています。これからもドルファミとして、ドルフィンズを応援していきます。ありがとうございました。

PEOPLE

子ども食堂に新米をお届け！ 「ドルフィンズ米プロジェクト」始動



ドルフィンズに関わる皆さまの力を集結して子ども食堂などに新米を届けるプロジェクト。シーズン中に集まった「ドルフィンズ米募金」を元手に田んぼの一区画を購入、愛知県内の農家さんへ米作りを委託し「ドルフィンズ米」を作り、子ども食堂に新米を届けます。

協力：認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋



2022-23シーズンホームゲーム会場 ドルフィンズ米募金を実施

今シーズンの開幕戦より、ホームゲーム会場にてシーズンを通して「ドルフィンズ米募金」を実施。募金の呼びかけには、選手も協力し目標金額を達成しました。



「ドルフィンズ米」田植えに坂本聖芽選手が参加

2023年5月24日(水)

津島市内の田んぼで、「ドルフィンズ米募金」の贈呈式、田植えを実施。ドルフィンズ米のお渡し先である子ども食堂の関係者や、セカンドハーベスト名古屋様、田んぼの管理を行っていただく事業者にもご参加いただきました。

本プロジェクトは、苦しい状況にある子ども達に「ドルフィンズ米」を継続的にお届けするため、今後のシーズンも引き続き行う予定です。

認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋 理事 松岡篤史 様

ファン、選手を巻き込んでのドルフィンズさんのお米作りは、セカンドハーベスト名古屋と農家さんを通じて、子ども食堂に新米を食べてもらう日本初の取り組みとなりました。社会貢献に熱心なBリーグの中でも、極めて斬新な試みになったと思います。ケガで試合に出られなかった選手の方々が、自ら募金箱を持って立ってくださった事。そして並んでまで募金をしていただいた皆さま。そのお気持ちは秋の稲刈りに繋がり、お米の出来栄が楽しみでなりません。あらためまして、関係者の皆様ありがとうございました。

一般社団法人 つなぐ子ども未来 代表 安藤綾乃 様

この度は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。支援者、生産者、仲介者、利用者、一同に介した機会は大変有り難く、この機会を沢山の子どもたちに伝えたいと思います。

つしま子ども食堂 利用者 様

娘達は田植えが初めてだったので怖がりしなにか心配でした。前日から下の娘には娘が大好きなお米がどうやってできるのかを説明して今日に備えていました。実際、今日田んぼに入り自身で苗を植えて、「うわあすごい!! 足が動かない」など言いながら笑顔も沢山見受けられて、大好きなお米を作る大変さも実感できたと思います。なかなか体験できない事なのでこの貴重な経験を忘れて欲しくありません。

また、名古屋ダイヤモンドドルフィンズのマスコットや選手にも触れ合えて、嬉しそうな娘の姿も凄く嬉しかったです。家に着いてから「バスケットボールの人達大きかった〜!」と、笑顔で話してくれました。とても貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

坂本聖芽 選手

たくさんの方に集まっていただき、このような機会ができたことを嬉しく思います。また、とても楽しく参加させていただき、ありがとうございました。バスケットボールを通じて、ファンのみならず地域の皆さんと社会貢献活動を一緒にできることは、自分自身とても良い経験になりました。ドルフィンズ米は、少しでも多くの子どものためにたくさん食べてもらえるように、おいしいお米になるように願っています。普段はプレーする立場ですが、応援頂いている方への恩返しとして、引き続き、多くの方に喜んでもらえるように、今後も積極的に参加していきたいです。

PEOPLE

「国際女性デー」



対談記事はこちらから
ご覧いただけます



女性のリーダーシップについて語る！



名古屋で活躍する女性を取り上げる特別企画として、トップパートナーの三菱電機様で活躍する、女性リーダーとの対談を実施。三菱電機名古屋製作所で初めて女性部長、更にセンター長に就任し、Forbes JAPAN WOMEN AWARD 2019 を受賞された大西厚子さん、人事部ダイバーシティ推進室長の山口妃奈子さんと、ドルフィンズのキャプテン齋藤拓実選手が、リーダーシップについて対談。ファンが「私も頑張ろう！」と前向きになったり、男性にも女性のエンパワメント推進への意識が高まるきっかけを提供しました。

国際女性デー表彰
「Dolphins Smile WOMEN AWARD 2023」

名古屋で活躍する女性リーダーを表彰する国際女性デー企画。名古屋市里親会子どもピースの代表奥田初恵様が受賞し、表彰状の授与、女性活躍推進アンバサダーの須田侑太郎選手から花束を贈呈しました。



名古屋里親会子どもピース 代表 奥田初恵様

このたびは、このような身に余る賞をいただき、誠にありがとうございます。驚きや嬉しさと同時に背筋の伸びる思いであります。今年度、里親家庭の子どもたちを対象に、名古屋ダイヤモンドドルフィンズの選手やコーチのみなさんとバスケットボールを通じて交流する機会をいただきました。また、試合のご招待やクリスマス会にご協力いただきました。実際に選手を間近で見て、試合を観戦後「僕も選手になりたい！」「バスケットが上手になりたい！」と言葉にする姿を見ると、子どもたちの夢がひとつ増えました。そして、スポーツを通じて、仲間と助け合うことや支え合うことの大切さを実感するひとときになったに違いありません。これまでの名古屋ダイヤモンドドルフィンズのみなさまの活動に深く感謝いたします。

私たち里親は様々な事情により家族と離れて暮らす子どもを、自分の家庭に迎え入れ温かい愛情をもって養育しています。現在、名古屋市には家族と暮らせない子どもが約800人います。そのうちの約2割が里親家庭で暮らしています。同じ当事者としての子ども同士のつながりは、将来に向かって心強い存在になります。

名古屋里親会子どもピースは子どもたちが胸を張って生きられる未来の実現を目指して活動しています。子どもを受け入れる里親が今以上に増えることはもちろん理想ですが、まずは里親家庭という家族の形を知ってもらいたい。里親家庭で暮らす子どもが地域にいるということを知ることによって子どもたちの支援につながっていきます。これからは里親家庭で暮らす子どもたちのことを温かく見守っていただけると嬉しいです。

賞をいただいたことを励みに、今後も精進したいと思います。このたびは本当にありがとうございます。

女性活躍推進アンバサダー須田選手
ミモザデザインのバッシュ着用

須田選手企画「SDYTR.シート」

試合終了後、当日着用したミモザデザインの特別なバッシュにサインを入れて、ファンへプレゼント。また、須田選手が国際女性デーの象徴であるミモザに絡めた特典を自身で考案し、ファンに直接プレゼントをお渡ししました。

須田侑太郎選手

女性活躍推進のアンバサダーになって、何か発信するようになったときに、僕自身国際女性デーに関して詳しく知らなかったで、僕と同じような方も多くいらっしゃると思いました。乳がん啓発の「ピンクリボン運動」のときに、他クラブの選手でピンクのシューズを履いているのを見ていたので、国際女性デーの象徴のミモザデザインのイエローのバッシュを履いて、まずはみんなに知ってもらいたいと思いました。

女性に対して、男性の僕自身が「がんばっている女性へ」何かするということも少し違和感を覚えたのも率直な意見です。しかし、国際女性デーの背景を知っていくうえで、日頃から支えていただいている、女性ファンのみなさんに「感謝の気持ちを込めて」何か喜んでいただけることをしたいと思いました。少しでもお力になれていれば幸いです。



選手より女性ファンへミモザの花束プレゼント

地域の女性が自信をもってご自身の人生をリードしているよう、選手から応援の気持ちを送りました。

三菱電機コアラーズWリーグ国際女性デーTシャツで入場



Wリーグで活躍する三菱電機コアラーズの選手・ヘッドコーチが、Wリーグの国際女性デーTシャツを着てドルフィンズの会場に登場し、会場を盛り上げました。また、キャプテンの渡邊亜弥選手から、女性リーダーとしてのメッセージを発信。コアラーズの選手入場の際に、花道を盛り上げて頂いた女性のファンには、コアラーズの選手からミモザの花束が贈られました。

三菱電機コアラーズキャプテン 渡邊亜弥選手

今日は三菱電機の冠ゲームと国際女性デーが重なった特別な日にお招きいただきありがとうございます。コアラーズは、バスケットボールを通じて、女性の豊かな未来作りを目指していきます。

PEOPLE

子ども食堂での試食会に選手が訪問



2023年3月2日(木)

齋藤拓実 選手が、一般社団法人 つなぐ子ども未来 様が運営する子ども食堂「つなぐハウス」へ訪問し、「齋藤拓実 選手プロデュース弁当」の販売前試食会を、「つなぐハウス」に通う子ども達と一緒に行いました。

齋藤拓実 選手

子ども達が、「おいしい!」と言ってくれたので、一安心しました。学校でも給食の時間はまだ黙食をしているということを子ども達から聞き、自身の学校生活では考えられないことだったので、とても心が痛みました。僕自身も、なかなかこのようにみんなで食事を囲むという機会が無くなってきていたので、とても貴重で楽しい時間になりました。また、今回のプロデュース弁当は、アスリートにとっても、とてもありがたいレシピで、おいしく作ってくれた学生にも感謝しています。子ども達も完食してくれたので、良かったです。

「あいち女性輝きカンパニー」認証登録



愛知県内の女性活躍企業の認証である、「あいち女性輝きカンパニー」に、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ株式会社が2023年3月1日付けで認証登録されました。

女性の活躍促進宣言

“Dolphins Smile”は、名古屋ダイヤモンドドルフィンズが、地域への感謝の気持ちとして実施する社会貢献プロジェクトで、「オフコートの3P」をコンセプトに、ドルフィンズコミュニティが笑顔になれるよう、社会貢献活動をリードします。プロジェクトの重要項目の1つに、「女性活躍推進」を設定いたします。「女性活躍推進」のプロジェクトアンバサダーに、日本代表選手をおき、ファンへの啓発活動、ホームゲーム会場で「女性活躍推進」に特化したイベントを行います。ドルフィンズを応援して下さるファンやパートナー企業の皆さまとともに、また自治体やNPOなど地域社会のお力添えをいただきながら、地域の皆さまがひとつのチームとなって、より良い未来に貢献するため、オフコートでも全力を尽します。

B.Hope「届け、バスケット! supported by 日本郵便」プロジェクトに参画



B.LEAGUEの社会的責任活動「B.Hope」のプロジェクトの一つ「届け、バスケット! supported by 日本郵便」の活動がスタートし、名古屋ダイヤモンドドルフィンズも参画、名古屋市内の児童養護施設に、バスケットゴール、ミニバスケットボール、フラッグを寄贈。中東泰斗 選手が、施設の子ども達と一緒に交流し、後日、寄贈したフラッグに、全選手のサインを入れて子ども達にプレゼント。また、ネットが破損していた屋外ゴールにドルフィンズからゴールネットを寄贈しました。

金城六華園施設長 田島 様

このコロナ禍で、子ども達の部活は制限され、スポーツ観戦はテレビでしか観ることができず、スポーツの楽しさを感じる機会が減ってしまいました。最近では、この状況でも出来ることを探し始めています。今回のご寄贈で、子ども達がまずは体を動かす機会、バスケットに触れる機会、バスケットをはじめスポーツは楽しいと感じることのできる機会も一緒にいただきました。ありがとうございます! 子ども達と一緒に試合観戦ができる日を楽しみにしています。中東選手をはじめ、名古屋ダイヤモンドドルフィンズを応援していきます!

PEOPLE

名古屋市里親会子どもピースや児童養護施設、
その他子ども達との交流バスケットボールクリニック すずらん鍼灸接骨院

ドルフィンズ練習場にて、ドルフィンズのコースコーチ、スクールコーチが、バスケットボールクリニックを実施。菊地真人 選手も飛び入りで参加し、交流を楽しみました。また、COCOプロジェクトにご賛同いただいたトップパートナーのすずらん鍼灸接骨院様より、公式の5号球が参加者の16名へ贈呈されました。

特定非営利活動法人 名古屋市里親会子どもピース 様

里親家庭で暮らす小学生から中学生を対象にバスケットを教えていただく中で、子ども達が楽しみながら真剣に取り組む姿や、見学の家族が熱心に応援する姿等、会場は一体感があり大盛り上がりでした。また、バスケットボールや年間を通じて試合を観戦できる「COCOチケット」など、多くのプレゼントをいただきました。子ども達からは、早速「宝物にする!」とボールを学習机に飾ったり、「バスケットを習いたい」と伝えるなど、嬉しい感想が多く寄せられました。菊池真人 選手との触れ合いや、コーチの皆さまの手厚いサポートのおかげで、夏休みの素敵な思い出になったに違いありません。この度は本当にありがとうございました。



ホームゲームへのご招待



2022年10月23日(日)

名古屋市里親会子どもピースの皆さま、(公財)東海交通遺児を励ます会の皆さま、児童養護施設金城六華園の子ども達をホームゲームへご招待。試合終了後には選手とコート上で交流しました。

特定非営利活動法人 名古屋市里親会子どもピース 様

「小学校4年生になり、部活でバスケットを始めたけれど、本物の試合を観たことで、部活への取り組み姿勢がさらに前向きになりました」「選手のあまりの大きさに小さな子供たちがビクビクしていた」など、参加したご家族からお声をいただきました。日頃の活動を通して、里親と里親のもとで成長をしていく子ども達の存在は、まだまだ社会に十分認知されているとは言えない状況だと感じております。多くの人たちに私たちが里親の活動を理解いただけるよう、少しでも里親のもとで暮らしている子ども達の未来が輝かしいものとなるよう精進してまいります。

東海交通遺児を励ます会
参加者の保護者 様

この度はすばらしい機会をいただきましてありがとうございます。高校生になり年齢的なものなかなか最近はずす時間が減ってしまっていたのですが、今回は自分からたくさん話をできてきて、嬉しそうなお息子の顔を見たのは久しぶりでした。親子の良い時間を作っていたいただいたことにも本当に感謝しています。今回のご褒美を力にして、また日々がんばって欲しいと思います。

社会福祉法人児童養護施設 金城六華園 参加生徒 様

今回はご招待していただきありがとうございます。色々なことを学ばせていただきました。今まで将来の夢がなかったのですが、バスケットを観てから、私も人々を笑顔にできるようになれるような人になりたいと思いました。バスケットの選手と写真を撮っている時間は夢の時間になりました。

株式会社 真城ホールディングス 様

ドルフィンズマイルパートナーとしての初めての取り組みとなりました。ご参加いただきました皆さま方にとっても喜んでいただき、弊社としても今後の地域貢献のあり方を見つめなおす良い機会となりました。バスケットボールの観戦を通じて、参加していただいた方々へ少しでも笑顔や感動を届けると同時に、子ども達には「体験」という形の寄付で、将来の「夢」へとつながるような場所を提供することが、当社の経営理念でもある「夢」「ゆとり」「癒し」にもつながり、子ども達の明るい未来へのきっかけになると感じております。また、後日感謝のお手紙もいただき、大変嬉しく感じました。ドルフィンズマイルパートナーとして、今後もこのような取り組みを積極的に実施していく所存です。



クリスマス会への参加

NPO法人名古屋市里親会子どもピースの皆さまのクリスマス会に、ダイヤモンドルーージュが参加し、特別パフォーマンスを披露。ユニフォームなどもプレゼントしました。



特定非営利活動法人 名古屋市里親会子どもピース 様

ドルフィンズの皆さま始め、ダイヤモンドルーージュのみなさんに来ていただき、過去最大華やかなクリスマス会になりました。ユニフォームが当たったお父さんは「ユニフォームを着てクリスマスの試合の応援に行く!」と言っていました。バスケットボールや、多くのあたたかいご支援をいただいて、感謝の気持ちでいっぱいです。週末の試合は、子どもピースのみなさんが試合の応援に行きます!

SDGsバスケットボールクリニック



2023年4月15日(土)

ドルフィンズの練習場で、「みんなで学ぼうSDGs&バスケットボールクリニック」を実施。NPO法人名古屋市里親会子どもピースのみなさんと交流し、クリニック後には、ドルフィンズバスに乗ってホームゲーム会場へ向かい、試合観戦を楽しみました。



特定非営利活動法人 名古屋市里親会子どもピース 様

素敵なイベントにご招待いただきありがとうございました。SDGsの勉強会では大人も一緒に知る機会になり、クラフト作りも家族ごとに楽しむ様子が見られました。また、ドルフィンズバスはとても快適で、子どもたちは集まって座り、賑やかに過ごしました。最後はドルフィンズの勝利をみんなと一緒に祝いすることができました。あつという間の楽しいひとときで、帰宅後も話題が絶えなかったです。里親会の子どもたちにとって、普段の学校の友達とは違い、同じ境遇の仲間との時間は特別なものだと思います。このたびは子どもたちの交流する機会をいただき心より感謝申し上げます。

PEOPLE

「こころの絆創膏」啓発

2022年11月1日(火)～12月23日(金)

名古屋市が主催する『こころの絆創膏デー2022オンラインイベント』に、COCOプロジェクトアンバサダーの張本天傑 選手、ドルフィンズスマイルのアンバサダーを務める齋藤拓実 選手、須田侑太郎 選手が協力。『こころの絆創膏デー2022オンラインイベント』では、子ども・若者のための相談窓口の紹介や「こころの悩み」に関する様々なコンテンツを公開。サイト内で選手直筆のメッセージや動画コメントの出演に協力しました。



2023年3月8日(水)、3月25日(土)、26日(日)

3月の自殺対策強化月間に行われたホームゲーム会場で、名古屋市相談窓口情報サイト「こころの絆創膏」の周知として携帯型絆創膏を配布・相談窓口設置。

協力:名古屋市健康福祉局



2023年3月19日(日)

名古屋市が主催する「こころの健康フェスタなごや」に、齋藤拓実 選手、COCOプロジェクトアンバサダーの張本天傑 選手、坂本聖芽 選手が動画コメントの出演に協力。

名古屋市健康福祉局 様

令和4年は昨年度より子ども・若者や女性などの自殺者数が増加傾向にありました。そんな中で、昨年に引き続き、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ様より女性向けイベントに合わせたこころの健康に関するブース出店についてご快諾いただきました。3月8日(水)、25日(土)、26日(日)と、3日間にわたり周知・啓発の機会をいただき、また、会場にお越しいただいた多くのファンの皆様にブースへ訪れていただき、本当に感謝しております。ぜひ、今後もこのような取り組みを続けさせていただければ幸いです。

オレンジリボン運動に参画



11月の児童虐待防止推進月間に、オレンジリボン啓発活動を実施。11月の試合では、ホームゲーム、アウェーゲームで、チームスタッフやMCがオレンジリボンを着用し試合に臨みました。アウェーの試合での着用は、チーム側からの提案で今シーズン初めて実施しました。

協力:NPO法人CAPNA、特定非営利活動法人チャイルドラインあいち

ドルフィンズ 梶山信吾GM

11月の児童虐待防止推進月間には、選手、スタッフへオレンジリボン運動の意図や趣旨を説明し、オレンジリボンの着用をお願いしています。始めは、1節のみの着用で考えておりましたが、「とても大切な活動であるし、僕たちがオレンジリボンを着用することで、オレンジリボン運動をより多くの方に知ってもらい、子ども達のためになるなら、アウェーでも着用しよう」というチームの意向で、アウェーの試合での着用に至りました。

「人権」啓発



2022年12月4日(日)、12月10日(土)

12月4日～10日の「人権週間」に開催されたホームゲーム会場で、人権に関する啓発活動を実施。また、名古屋法務局及び愛知県人権擁護委員連合会主催「第41回全国中学生人権作文コンテスト愛知県大会表彰式」では、「名古屋ダイヤモンドドルフィンズ賞」を設定、応募のあった12,455編の中から、刈谷市立雁が音中学校3年の岡田亜希穂さんの「『知らない』を『知る』こと」が選ばれ、表彰状の授与が行われました。

協力:名古屋法務局

名古屋法務局 様

昨年度に引き続き、今年度も名古屋ダイヤモンドドルフィンズ様に「人権週間」の啓発活動に御協力いただきました。来場者の皆様にドルフィンズとのコラボファイルバックをお渡ししたところ、多くの方から啓発活動や法務局の窓口について質問があり、人権への関心の高さがうかがわれました。今後も地域の皆様に人権について関心を持っていただけるよう名古屋ダイヤモンドドルフィンズ様と共に取組みを行ってまいります。

「夢と命の絆づくり推進事業」特別授業



名古屋市が行っている「夢と命の絆づくり推進事業」の一環で、名古屋市立東桜小学校で、中東泰斗 選手、吉田英司アシスタントコーチ兼アシスタントマネージャーが特別授業を行いました。授業の後には、中東選手からのパスで、全生徒がシュートにチャレンジし交流しました。

参加した生徒さまからの声

選手のダンクシュートを間近で見られて感動しました。選手が実際に来てくれてとても楽しかったし、勉強になりました。選手からパスをもらってシュートする体験では、シュートを決めることができとても嬉しかったです。中東選手のシュートを打っている映像がすごかったです。でも、練習時間が僕が学校に行っている時間と同じくらいなのが意外でした。選手のダンクシュートがすごかったです。私は、バスケットボールは好きですが、苦手なので、羨ましいと感じました。

活動内容

ご挨拶

概要について

SDGsとは

協力・連携機関一覧

主なメディア掲載一覧

PEOPLE

「献血」啓発



ホームゲーム会場で献血啓発活動を実施

2023年1月11日(水)

名古屋駅前献血ルームゲートタワー26で「名古屋ダイヤモンドドルフィンズ展」を開催。期間中に実施されたホームゲーム会場でも、献血の啓発活動を行いました。

協力: 献血ルームゲートタワー26

愛知県赤十字血液センター 献血ルーム ゲートタワー26 様

今年もまたSNSでの呼びかけや啓発活動にご協力いただき心より感謝いたします。ブースでの呼びかけでは、「今日献血行ってきたよ!」、「今度献血に行くね!」など、声をかけてくださる方や、まだ献血を行ったことないけれど興味を持って話を聞いてくださった方、多くのファンの方に関心を持っていただけることを嬉しく思います。献血ルームゲートタワー26で実施した「名古屋ダイヤモンドドルフィンズ展」も大変好評でした。今後もドルフィンズスマイルの活動を通じて、より一層献血へのご理解を深めていただき、ご協力いただけるよう、展示企画やキャンペーンなど、ご一緒させていただけたら幸いです。



「はたちの献血キャンペーン」

「学生スプリング献血キャンペーン2023」に協力

2023年2月12日(日)、3月12日(日)

オアシス21 銀河の広場で行われた献血キャンペーンで、オアシス21に構えるドルフィンズの共創スペース「DOLPHINS PORT」内を献血会場として連携し、献血の啓発活動に協力しました。

協力: 愛知県赤十字社

日本赤十字社 様

若年層の献血者数が減少傾向にあるなか、またコロナ禍で学校に献血バスを配車する機会が減少し、若年層の献血離れが一層加速しています。こういった状況において、若年層の方に献血の大切さを知ってもらうため、愛知県内在学の大学生を中心とした学生ボランティアが、献血キャンペーンを主催し、ステージ企画や献血を実施しました。以前より、献血の普及啓発にご協力頂いている名古屋ダイヤモンドドルフィンズ様にも、こういった取り組みに賛同頂き、献血会場としてドルフィンズポートで連携したり、献血者にプレゼントするグッズのご提供、ダイヤモンドルージュやディーディーのステージ出演、学生ボランティアとともに献血の呼びかけを行うといった多大なるお力添えを頂きました。今後も輸血用血液の安定確保、安定供給に努めてまいりますので、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ様及びファンの方のお力添えは、献血に対するご支援ご協力賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

赤い羽根共同募金



2022年12月25日(日)

12月の「寄付月間」に合わせ、ホームゲーム会場で赤い羽根共同募金を実施。協力いただいた方には環境に配慮した100%リサイクル素材のコラボクリアファイルを配布しました。当日は、フロントスタッフ、チームスタッフ、MCも赤い羽根を着用し試合に臨みました。募金総額: 100,900円

協力: 社会福祉法人愛知県共同募金会

「ヘルプマーク」啓発



2022年12月30日(金)

12月3日から9日の「障害者週間」に、ホームゲーム会場でヘルプマークの普及啓発活動を実施。4,000名を超えるお客様へ、ヘルプカードの啓発チラシを配布しました。

協力: 名古屋市健康福祉局

名古屋市健康福祉局障害企画課 様

令和2年度よりドルフィンズ様のご協力のもと、ヘルプマークの普及啓発活動を行ってきました。今回は、「どこで貰えるのか。」「家族など身近な方に利用してほしいけど上手くいかない。」といったご相談もありました。この機会にまわりの方にお声かけいただき、ヘルプマークと共にヘルプカードもより身近に感じていただければと思います。

「中部ウォーカーソン国際チャリティフェスティバル」に協力



2023年5月21日(日)

名城公園で開催されたチャリティイベント「中部ウォーカーソン国際チャリティフェスティバル」の抽選景品として、ドルフィンズから、#43スコット・エサトン 選手のサイン入りアイテムを提供。イベントの収益は全額、名古屋のNPO団体に寄付されます。

主催: ACCJ(在日米国商工会議所)中部支部

PEOPLE

SDGs×スポーツ 企業訪問などに選手が協力



愛西市立佐屋中学校

2022年6月16日(木)

2年生5名が「SDGs×スポーツ」を学ぶため、ドルフィンズオフィスと練習場を訪問し質問セッションを実施、中東泰斗 選手と交流。生徒自身が「スポーツ×SDGs」を調べていく中で、ドルフィンズスマイルの活動を知り、直接ご依頼を頂いたことから特別授業が実現しました。

参加した生徒さまからの声

ホームページだけではわからないことを知る貴重な機会になりました。自分たちが取り組んでいるSDGsの目標に、選手も取り組んでいることを知り、とても嬉しかったです。自分だけではできないけど、これからは周りのお友達と取り組んでいきたい。選手の呼びかけでSDGsに取り組むことは、ファンにとってはとても嬉しことだと思います。スポーツ選手が何でSDGsに取り組んでいるのかわかりませんが、スポーツの力でファンを動かし、ファンの移手段を環境に良い乗り物に変えたりできるといことにつながっていることを知って、自分でも環境を守る行動をちゃんと行おうと思いました



名古屋市立千鳥丘中学校

2022年12月13日(火)

2年生13名が「SDGs企業訪問」としてドルフィンズオフィスと練習場を訪問、張本天傑 選手と交流。1年生のときから総合的な学習の時間でSDGsについて学習を進めており、ドルフィンズスマイルの活動を知り、直接お問い合わせ頂いたことから、今回の特別授業が実現しました。

参加した生徒さまからの声

バスケットボールとSDGsがどのように関わっているか、名古屋ダイヤモンドドルフィンズに行ってみて、実際に行っている取り組みや考え方がよく分かりました。ファンの方とともに「フードドライブ」を行ったり、CO2削減のために、公共交通機関で観に来てくれたファンの方にスタンプを押し、貯まったら選手のサインなどが貰えたりと色々な工夫をされていることに驚きました。そして、「オフコート」の3Pを基軸とし、プロスポーツクラブとして一丸となって社会問題に取り組む姿勢に、感銘を受けました。今回の訪問で、SDGsについての関心をより深めることができました。地球の未来のために自分たちでできることをコツコツと行動していきたいです。



名古屋市立高針台中学校

2023年1月24日(火)、1月31日(火)

1年生33名が「SDGs企業訪問」としてドルフィンズオフィスと練習場を訪問、ドルフィンズスマイル担当者との質問セッションを実施。各生徒が興味のあるSDGs項目に対し「将来の自分にできることは何か」について考える追究学習の一環で調べていく中で、気候変動や環境問題に取り組むドルフィンズスマイルの活動を知り、直接お問い合わせ頂いたことから、今回の特別授業が実現しました。練習場を訪問した際には、練習がオフで自主練習をしていた中務選手が、サプライズで生徒の皆さんと記念撮影をしました。

参加した生徒さまからの声

ドルフィンズは、ホームゲーム会場のお店で、バガス容器というサトウキビの搾りかすからできた土にかえる環境にいい容器を使って食べ物販売しているということが分かりました。私は今後、実際に会場に行ってみて、バガス容器に入った食べ物を買って、小さなことからでも環境にいいことをしていきたいです。そして今後、僕たちにできることは、小さな積み重ねが大きな目標の達成につながっていくのだと理解することが大切で、無理のない程度にみんなで協力しあって取り組んでいくことだと思います。

活動内容 PEACE

「官民連携した少年支援活動推進セレモニー」を実施



繁華街を中心に寄り集まる少年の多くは、個々では解決できない問題を抱えながらも、その解決の糸口となる社会や大人との繋がりが希薄化し、問題の深層化が懸念されています。この状況を受けて、愛知県中警察署が主体となり、少年の支援活動に従事するNPO等と連携した支援活動を開始するにあたり、セレモニーに中東泰斗選手が参加し、NPO団体の啓発活動などへの協力をコミットしました。

協力：愛知県中警察署

「そなえてバスケット supported by 日本郵便」
クラブ対抗企画「そなえてバスケット杯～ファン防災アクション～」に参加

「そなえてバスケット supported by 日本郵便」2023年3月9日(木)～4月2日(日)

ファンの皆さんとともに、防災意識を高め災害に強い地域を作るため、Yahoo!JAPANが提供する「ヤフー防災模試」に挑戦！会場やSNSで実施した「防災模試」から得点を獲得する「ファン防災アクション」は、B1に所属する24クラブ中4位という成績を収めました。また、ドルフィンズスクール生の低学年を対象に、バスケットを楽しみながら防災行動を学ぶ「DEFENSE ACTION」の中から「ファーストアクション」を実施しました。



協力・連携機関一覧

ドルフィンズスマイルの活動は、企業・団体様のご支援ご協力により実施しております

※各カテゴリ、プロジェクト実施順、敬称略

【行政機関等】

- ・名古屋市環境局資源化推進室(フードドライブ)
- ・名古屋市環境局減量推進室(アップサイクル)
- ・名古屋市環境局脱炭素社会推進課(なごっちゃアプリ連携エコポイントイベント)
- ・名古屋市健康福祉局健康部健康増進課(こころの絆創膏)
- ・名古屋市子ども青少年局子ども福祉課(児童養護施設招待)
- ・名古屋市役所健康福祉局 障害福祉部障害企画課(ヘルプマーク)
- ・名古屋市子ども青少年局 保育部 保育運営課(幼稚園、保育所招待)
- ・名古屋法務局人権擁護部(人権啓発、中学生人権作文コンテスト表彰)
- ・名古屋市健康福祉局健康部健康増進課(なごや健康マイレージ)
- ・名古屋市交通局(公共交通機関来場促進LINEスタンプラリー)
- ・名古屋市保健センター(ダンスプログラム)
- ・愛知県県民文化局男女共同参画推進課(あいち女性輝きカンパニー)
- ・愛知県中警察署(官民連携少年支援活動推進)
- ・名古屋市精神保健福祉センター(こころの健康フェスタなごや)
- ・小牧市市長公室秘書政策課(SDGs未来都市啓発活動、SDGsクイズ)
- ・小牧市市民生活部環境対策課(SDGsクイズ)
- ・小牧市役所 商工振興課(ふるさと納税PR)
- ・小牧市役所 健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課(ウォーキングアプリalko)

【NPO・地域団体】

<子ども支援COCOプロジェクト連携パートナー>

- ・認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋(フードドライブ、ドルフィンズ米プロジェクト)
- ・特定非営利活動法人チャイルドラインあいち(児童虐待防止オレンジリボン)
- ・認定NPO法人CAPNA(児童虐待防止オレンジリボン)

<その他>

- ・NPO法人名古屋市里親会子どもピース(バスケットボールクリニック、クリスマス、試合招待等)
- ・一般社団法人つなぐ子ども未来(プロデュース弁当試食会、ドルフィンズ米プロジェクト)
- ・つしま子ども食堂(ドルフィンズ米プロジェクト)
- ・津島トラクター(ドルフィンズ米プロジェクト)
- ・一般社団法人 海と日本プロジェクト(会場内ゴミ箱設置、プロギング)
- ・愛知県赤十字血液センター 献血ルームゲートタワー26(献血啓発、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ展)
- ・愛知県赤十字献血センター(オアシス21 はたちの献血、学生スプリング献血啓発)
- ・社会福祉法人愛知県共同募金会(赤い羽根共同募金)
- ・東区社会福祉協議会(赤い羽根共同募金会)
- ・あいち小児保健医療総合センター(張本選手病院訪問)
- ・ACCJ(在日米商工会議所)中部支部(第32回中部ウォーカーソン)

【教育機関】

- ・名城大学社会連携センター
- ・中京大学スポーツマネジメント学科伊藤ゼミ



主なメディア掲載一覧

【ドルフィンズスマイル取り組み】

- ・(4years Web)名古屋Dの社会的責任活動「ドルフィンズスマイル」 スポーツの力で環境問題の解決へ
<https://4years.asahi.com/withbasketball/socialactivity/14701383>
- ・(Bリーグ B.Hope特集)名古屋ダイヤモンドドルフィンズがスポーツの力で地域課題に挑む〜ファンと共に地域を笑顔に〜
https://www.bleague.jp/b-hope/hope-story/story_detail/id=236056
- ・(スターキャット(YouTube))SDGsミライProgram #6 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ
https://youtu.be/vH_1dsJc2XE

【気候変動プロジェクト】

- ・(中日新聞)名古屋ドルフィンズ、使い古し活用 選手のボールをキーホルダーに
<https://www.chunichi.co.jp/article/560543>
- ・(中部経済新聞)ドルフィンズの試合でスタンラリー名古屋市交通局が明日から
https://www.chukei-news.co.jp/news/2023/03/24/OK0002303240401_03/
- ・会場内脱プラの取り組み
テレビ愛知「はちまるご」

【子ども支援COCOプロジェクト】

- ・(毎日新聞)バスケットボール 子ども食堂に新米を ドルフィンズが計画 寄付金集め、農家に依頼
<https://mainichi.jp/articles/20220923/dtl/k23/050/112000c>
- ・(中日新聞)B1ドルフィンズが子ども食堂を支援 ホーム戦会場で募金 COCOプロジェクト
<https://www.chunichi.co.jp/article/556031>
- ・(日本農業新聞)食で広がる支援の輪 ドルフィンズ米募金
- ・(日本農業新聞)子ども食堂 支援の輪広がれ
- ・(中日新聞)昭和区の子ども食堂で試食会
- ・(中部経済新聞)子ども食堂で弁当試食会、バスケの齋藤選手が考案ポッカサッポロ
https://www.chukei-news.co.jp/news/2023/03/07/OK0002303070201_05/
- ・(スターキャット(YouTube))ドルフィンズの選手が子ども食堂へ
<https://www.youtube.com/watch?v=DB3-MsnEhIk&list=PL1t58gcnW-5r4GChjvaKpwrmtsoQRcd&index=21>
- ・(中日新聞)里親と子どもたち 名古屋で体験バスケの基礎 教わったよ!
<https://www.chunichi.co.jp/article/673406>
- ・(CBCテレビ、Yahoo!ニュース)愛知県警と「名古屋ダイヤモンドドルフィンズ」がタッグ 悩みを抱える少年少女と相談窓口をつなぐ架け橋を…
<https://news.yahoo.co.jp/articles/c02faf978551d6af09395acb65fbbccf7d0a01d0>
- ・(中日新聞)家庭や学校に居場所がない若者支援拠点 オアシス21に
<https://www.chunichi.co.jp/article/641612?rct=aichi>
- ・(中京テレビ)若者へ献血の理解と協力を呼びかける「はたちの献血キャンペーン」
https://www.youtube.com/watch?v=OCnuxAKwB_U
- ・(中京テレビ NEWS ZERO ローカル、Yahoo!ニュース)名古屋ダイヤモンドドルフィンズ・張本選手小児病院を訪問 子どもたちと交流
https://www.youtube.com/watch?v=OCnuxAKwB_U
- ・(毎日新聞)闘病の子らと交流 バスケ名古屋D張本選手「自分がパワーもらえた」
<https://mainichi.jp/articles/20230501/dtl/k23/050/091000c>
- ・(NHK)ドルフィンズの選手が田植えを体験 愛知・津島
<http://www3.nhk.or.jp/tokai-news/20230524/3000029291.html>

- ・(中日新聞) オンシーズンはバスケ、オフは米作り? B1名古屋ドルフィンズの新プロジェクト
<http://www.chunichi.co.jp/article/699224>
- ・(朝日新聞)「ドルフィンズ米」を田植え 秋には子ども食堂へ
<http://www.asahi.com/articles/ASR5S7HJ8R5SOIPE003.html>
- ・(毎日新聞)ドルフィンズ米プロジェクトが始動
<http://mainichi.jp/articles/20230530/dtl/k23/050/164000c>
- ・(日本農業新聞)実れ!ドルフィンズ米

【その他】

- ・(中日新聞)名古屋Dバスケ選手市内施設で介護体験 中日新聞

<主催者等による活動掲載>

【フードドライブ】

- 認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋 <https://www.2h-nagoya.org/date/2022/10>
- 名古屋市ホームページ <https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000096920.html>

【人権啓発】

- 名古屋法務局ホームページ https://houmukyoku.moj.go.jp/nagoya/page/000001_00670.pdf

【アップサイクル】

- 名古屋市ホームページ <https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000156951.html>

【献血】

- 愛知県赤十字献血センターホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/aichi/2023/01/post-270.html>
- <https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/aichi/2023/02/in21.html>

【こころの絆創膏】

- こころと健康フェスタ公式ページ <https://kokoronokenkonagoya.com/>

【官民連携した少年支援活動推進セレモニー】

- 愛知県警察公式ホームページ <https://www.pref.aichi.jp/police/syokai/sho/naka/>

【アースデイ プロギング】

- PR TIMES <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001580.000077920.html>

<登壇・メディア出演実績>

・Sport Positive Summit 2022

- 10月4日・5日にロンドンのウェンブリースタジアムで開催された、国連とIOCが初共催するスポーツとサステナビリティに関するハイレベルフォーラムに日本を代表して登壇 「ドルフィンズスマイル」の活動について発表いたしました
<https://www.sportpositivesummit.com/> <https://www.sportpositivesummit.com/speakers-2022/>

・Sport For Smile プラネットリーググローバルスピーカーシリーズ

- IOCのサステナビリティ・マネージャーにドルフィンズスマイルの活動を簡易報告し、評価頂きました。
https://www.sustainablebrands.jp/news/jp/detail/1214304_1501.html

・FM AICHI SDGs SPECIAL～ ACTION FOR THE FUTURE ～ FM AICHI(ラジオ)

- ドルフィンズスマイルに取り組みきっかけや、今までの活動についてお話ししました。



ドルフィンズスマイルパートナー

PARTNER



株式会社
TAMADIC

TAMADIC

Dolphins Smile
活動レポート
詳細はこちら

